

平成24年度 財団法人焼津市振興公社事業報告書

1. 総括事項

財団法人焼津市振興公社は、その目的を達成するため、平成24年度において概ね次のような事業を行いました。

(1) 地域文化の振興

焼津及び大井川文化会館では、国内外の優れた芸術文化の鑑賞機会を広く市民に提供すると共に市民の芸術文化活動を支援するため自主文化事業を鑑賞型、普及型、参加型とバランスを取り積極的に実施致しました。事業の実施については、市民の要求と経済性を考慮した上で良質な催事を企画し、他の団体・機関との共催事業を含め、文化会館としては67本（焼津43本・大井川24本）の自主文化事業を行い、多くの市民の鑑賞・参加を得、好評を博しました。

観客動員の対策として、テレビ、ラジオ、新聞広告等を利用した事業PRを積極的に行うとともに、希望者へ電子メールでの事業情報の配信を始めました。また文化事業情報の提供のため情報紙「いべにゅ」・「ミュージコクラブ」を毎月発行いたしました。

昨年度より導入したチケットシステムは、両文化会館をオンラインで結びインターネットの予約やチケットを両館で受け取ることを可能とし、利用者の利便性やサービスの向上に繋がっています。また、より多くの人々が気軽に利用ができるよう託児サービスも実施しました。

ディスカバリーパーク焼津天文科学館では、光学式と国内最高水準となるCGによる複合型プラネタリウム（H22.3導入）を活用することで、実際の夜空と見違えるほど美しく鮮明で、迫力ある映像を投影しました。これにより、宇宙や天文分野への興味・関心をより一層高め、その期待に応える投影を実施しました。学習投影では教員と事前の打合せを密に行うことにより、学校での授業進度や要望に応える投影の実現に努めました。

展示・体験室では、見たり、触ったりしながら科学について楽しく学べる参加体験型の特別展（3回）を開催しました。また、本年も職員が中心となって企画から製作・設置に至るまで、経費を抑制した上で行っており、少しでも子供達が科学への興味・関心高められる展示を目指してその実現に努めました。

(2) 公の施設等の管理運営の受託

地域文化の振興拠点である文化センターの施設管理と焼津文化会館及び大井川文化会館の運営、ディスカバリーパーク焼津天文科学館の管理運営、ディスカバリーパーク焼津内の公園・広場の維持管理を行いました。

焼津・大井川文化会館及びディスカバリーパーク焼津天文科学館の施設運営については、市民の様々な要求と期待に添うことができるよう、複合施設としての機能を生かすと共に、弾力的、効果的な運営に努めました。その結果として、焼津文化会館では大小ホール、会議室等の効率的な貸館業務の運営を行い、年間利用者数は264,827人、年間会館使用料収入は41,786,690円を計上し、同様に大井川文化会館では、年間利用者数66,013人、年間会館使用料収入は10,104,450円を計上しました。

また、天文科学館においては、静岡では839年ぶりとなる金環日食が5月21日に起きたことから、春に投影したプラネタリウム番組「静岡からみる金環日食」に多くのお客様が来場し、展示・体験室の「おもしろ科学ランド」への入場者数も増加しました。平成24年度の年間有料入場者数は前年を約6千人上回る117,185人となりました。

以上により、今期の収支は事業活動収支の部では収入527,659,735円、支出523,747,151円、収支差額3,912,584円、投資活動収支の部では、収入0円、支出1,942,392円、収支差額△1,942,392円となり全体の差引で1,970,192円の利益を計上しました。

今後とも、焼津市との緊密な連携の下、公社の合理的な運営を図り、市民サービス向上に一層の努力を重ねる所存です。